平成29年度　事業報告書

（事業年度　平成29年4月1日　～　平成30年3月31日）

香蘭

学校法人　山内学園

祈りつゝ育てしまこと
あらわれて
気高く香る初咲きの蘭

昭和三十五年短大一期生卒業式一首

初代学長　山内良子先生著

目　　次

1. 法 人 の 概 要 …… 1

2. 学 園 沿 革 …… 3

3. 法 人 組 織 図 …… 4

4. 役 員 ・ 評 議 員 …… 5

5. 学 生 ・ 職 員 現 員 …… 6

6. 事 業 の 概 要 …… 7

7. 主 な 事 業 内 容 …… 9

8. 地域貢献活動報告 …… 12

9. 進 路 状 況 …… 13

10. 決 算 の 概 要 …… 14

11. 資 金 収 支 計 算 書 …… 16

12. 活 動 区 分 資 金 収 支 計 算 書 …… 17

13. 事業活動収支計算書 …… 18

14. 貸 借 対 照 表 …… 19

15. 財 産 目 録 …… 20

16. 監 査 報 告 書 …… 21

17. 財 務 比 率 表 …… 22

法人の概要

法人名：　学校法人　山内学園　（昭和23年2月　法人設置認可）

理事長：　坂　根　康　秀

所在地：　〒811-1311　福岡市南区横手1丁目2番1号

電　話：　(092)581－1538　　FAX: (092)581－2200

H　P：　http://www.koran.ac.jp

設置学校

香蘭女子短期大学

〒811-1311　福岡市南区横手1丁目2番1号

学長　坂　根　康　秀

設置学科：ファッション総合学科・ 食物栄養学科・ 保育学科 ・ライフプランニング総合学科
（テクニカル専攻科　1年課程）

電　話：　(092)581－1538　　FAX: (092)581－2200

H　P：　http://www.koran.ac.jp

香蘭ファッションデザイン専門学校

〒810-0074　福岡市中央区大手門2丁目10番5号

校長　深　田　勝　久

設置学科：ファッションデザイン専攻科(3年課程)・ ファッションデザイン科(2年課程)
ファッションテクニカル科(2年課程)・ ファッションビジネス科(2年課程)

電　話：　(092)751－1331　　FAX: (092)741－0688

H　P：　http://www.koran.jp

香蘭女子短期大学付属　香蘭幼稚園

〒811-1311　福岡市南区横手1丁目12番35号

園長　坂　根　康　秀

定員：270名　　3年保育　　2歳児・満3歳児保育　　預り保育あり

電　話：　(092)571－3441　　FAX: (092)513－1813

H　P：　http://kourankid.com

幼保連携型認定こども園（平成30年4月より移行）

香蘭女子短期大学付属　那珂川第一幼稚園

〒811-1251　筑紫郡那珂川町松木5丁目1番1号

園長　河 野 博 行

定員：280名　　3年保育　　2歳児・満3歳児保育　　預り保育あり

電 話：（092）953－1135　FAX:（092）953－3848

H P：http://www.nakagawadai1.com

香蘭女子短期大学付属　那珂川第二幼稚園

〒811-1252　筑紫郡那珂川町五郎丸3丁目17番1号

園長　峯 田 功 子

定員：240名　　3年保育　　預かり保育あり

電 話：（092）953－0222　FAX:（092）953－0222

H P：http://www.nakagawadai2.com

（姉妹法人設置保育園）

社会福祉法人　香蘭育成会　しおばる保育園

〒815-0032　福岡市南区塩原3丁目26番19号

理事長　坂 根 康 秀

園 長　長谷川 明 美

定員 120名

電 話：（092）554－1188　FAX:（092）554－1288

H P：http://www.shiobaruhoikuen.com

建学の精神

「いかなる困難な場合にあっても、創意・工夫を大切にし、
人を愛し、人から愛される自立した女性の育成」

学園沿革

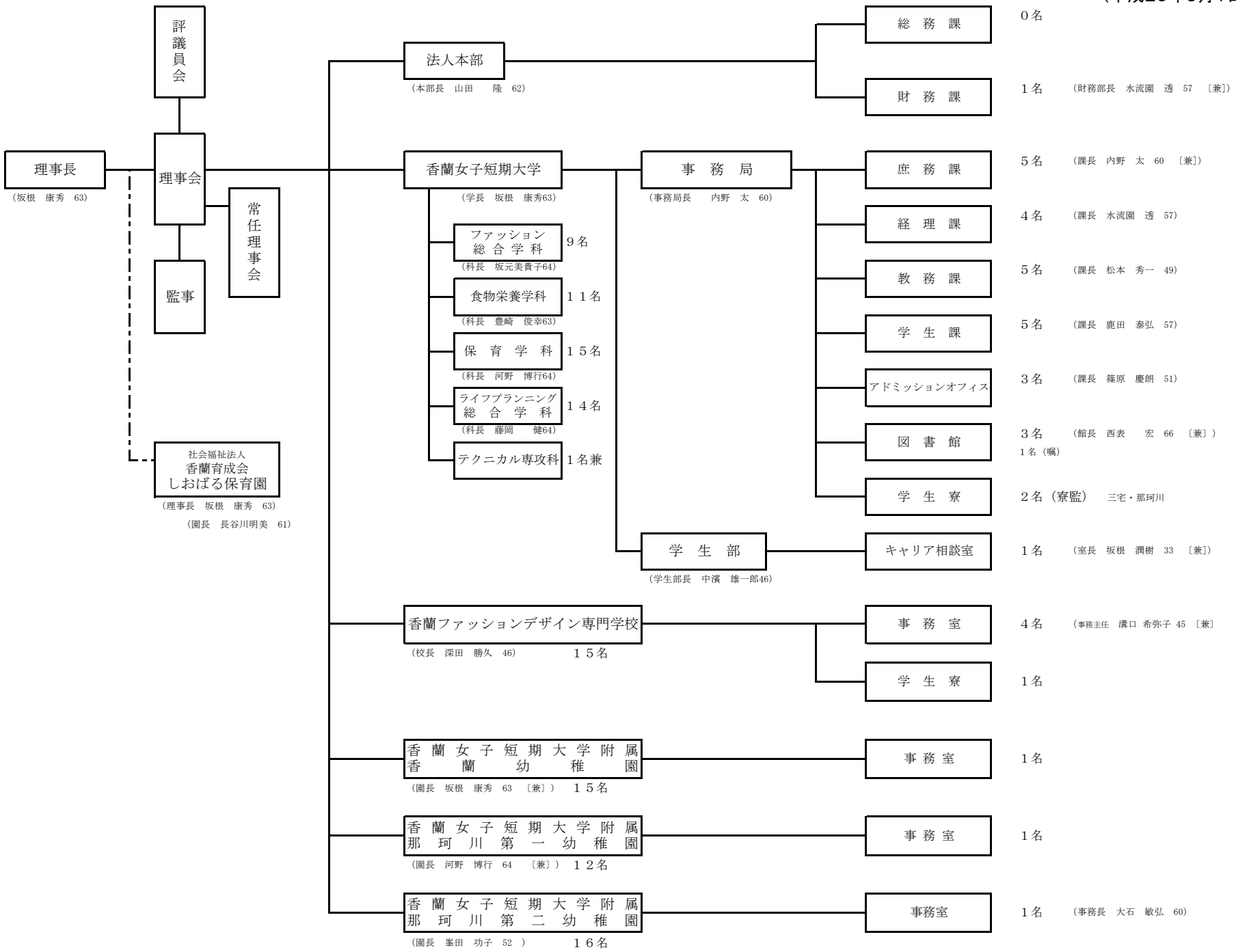
昭和	10年 5月	レディードレス香蘭女学院開学
	21年 9月	香蘭女学院設立認可（個人立）
	26年 3月	財団法人レディードレス香蘭女学院から準学校法人香蘭女学園へ組織変更
	33年 1月	学校法人山内学園へ組織変更認可、香蘭女子短期大学被服科設置認可
	36年 8月	創設者 山内良子逝去
	38年 4月	短期大学に家政科増設（井尻校舎）
	40年 4月	短期大学に保育科増設（井尻校舎）、被服科二部増設（大手門校舎）
	42年 4月	短期大学附属幼稚園（現香蘭幼稚園）開園
	47年 4月	被服科を井尻校舎へ移転し、短期大学を同一校地へまとめる
	50年10月	被服科2部廃止、法人本部を中央区大手門から南区横手へ移転
	51年 9月	香蘭女学院を専修学校に組織変更し、専門学校香蘭女学院に名称変更
	58年 4月	短期大学に秘書科増設
	62年 4月	短期大学に国際教養科増設
	63年12月	学）啓徳学園を吸収合併認可、香蘭女子短期大学附属那珂川第一幼稚園に名称変更
平成	元年 4月	香蘭女学院を香蘭ファッションデザイン専門学校に名称変更
	10年 8月	専門学校の高等課程を廃止
	11年 4月	香蘭女子短期大学附属那珂川第二幼稚園設置
	15年 4月	家政科家政専攻、秘書科、国際教養科を改組転換し、ライフプランニング総合学科を設置
	〃	被服科を被服学科へ、保育科を保育学科へ名称変更
	〃	短期大学の家政科専攻分離を廃止し、家政科を食物栄養学科に名称変更
	16年 3月	秘書科、国際教養科廃止
	17年 4月	那珂川第一幼稚園 園舎移転（王塚台から松木）
	18年 4月	附属幼稚園園舎を新築移転し、附属香蘭幼稚園に名称変更
	20年 4月	短期大学の被服学科をファッション総合学科へ名称変更
	21年 4月	専門学校のスタイリスト科を廃止、ファッションデザイン専攻科、ファッションデザイン科、ファッションテクニカル科、ファッションビジネス科へそれぞれ名称変更
	22年 4月	短期大学にテクニカル専攻科（1年）を設置
	26年 4月	専門学校が職業実践専門課程の文科省認定を受ける
	30年 4月	那珂川第一幼稚園を幼保連携型認定こども園に移行

歴代理事長

初 代	山内良子	昭和33年 1月 ～ 昭和36年 8月
第二代	家永豊太	昭和36年11月 ～ 昭和38年 8月
第三代	坂根嘉子	昭和38年 9月 ～ 昭和53年 3月
第四代	坂根 潔	昭和53年 4月 ～ 平成 6年 3月
第五代	山内昭人	平成 6年 4月 ～ 平成20年 3月
第六代	坂根康秀	平成20年 4月 ～ 現 在

法人の組織機構図

（平成29年5月1日現在）



役員・評議員

平成２９年度

区　分	常勤 非常勤	氏　名	就任年月日	任　期	選任条項	
理事長	常勤	坂　根　康　秀	平成6年4月1日		一	学長
	非常勤	岩　本　美津子	平成22年4月1日		二	評議員会互選
	常勤	山　田　　隆	平成16年4月1日		三	法人職員
理　事	非常勤	山　内　昭　人 （理事長代理人）	平成3年5月25日	H26.4.1～30.3.31	四	功労者・学識経験者
（定数7）	非常勤	津　田　聰　夫	平成17年4月1日		四	功労者・学識経験者
	非常勤	海江田　令　次	平成22年4月1日		四	功労者・学識経験者
	非常勤	船　越　俊　秀	平成26年4月1日		四	功労者・学識経験者
監　事	非常勤	武　部　道　孝	平成18年4月1日	H26.4.1～30.3.31		理事長選任
（定数2）	非常勤	山　内　知　生	平成24年4月1日			理事長選任
	常勤	坂　根　康　秀	平成2年4月1日		一	香蘭女子短期大学長
	常勤	深　田　勝　久	平成22年4月1日		二	香蘭ファッション校長
	常勤	河　野　博　行	平成29年4月1日		三	附属幼稚園長
	常勤	峯　田　功　子	平成24年4月1日		三	附属幼稚園長
	常勤	坂　根　潤　樹	平成26年4月1日		四	後継者
	非常勤	牛　島　茂　美	平成24年4月1日		五	卒業生
	非常勤	的　野　秀　子	平成22年4月1日	H28.4.1～30.3.31	五	卒業生
	非常勤	中　富　美穂子	平成14年4月1日		五	卒業生
	常勤	水流園　　透	平成22年4月1日		六	法人職員
評議員	常勤	豊　﨑　俊　幸	平成28年4月1日		六	法人職員
	常勤	溝　口　希弥子	平成17年4月1日		六	法人職員
（定数17）	非常勤	小　竹　誠　次	平成18年4月1日		七	功労者・学識経験者
	非常勤	岩　子　律　二	平成26年4月1日		七	功労者・学識経験者
	非常勤	船　越　俊　秀	平成24年4月1日		七	功労者・学識経験者
	非常勤	岩　本　美津子	平成16年4月1日		七	功労者・学識経験者
	非常勤	秋　峯　良　二	平成28年4月1日		七	功労者・学識経験者
	非常勤	森　山　久　子	平成26年4月1日		七	功労者・学識経験者

学生・園児数現員

① 学生生徒現員

※専攻科学生数は外数、留学生は内数（５月１日現在基本調査より）

学校名・学科課程名		入学定員	平成28年度		平成29年度		前年度増減	
			入学者	在籍数	入学者	在籍数	入学者	在籍数
短期大学	ＦＡ総合学科	100	68	133	61	127	△ 7	△ 6
	食物栄養学科	80	69	122	58	129	△ 11	7
	保育学科	150	162	347	144	309	△ 18	△ 38
	ＬＰ総合学科	150	127	243	143	277	16	34
	合計	480	426	845	406	842	△ 20	△ 3
	テクニカル専攻科	15	0	0	8	8	8	8
	留学生(短期含む)		4	14	4	18	0	4
専門学校	合計	160	119	250	117	250	△ 2	0
	（男子）		14	29	15	30	1	1
	［留学生］		1	1	1	2	0	1
香蘭幼稚園	満３歳児未満		11	11	5	5	11	11
	３歳児	100	81	103	76	97	△ 5	△ 6
	４歳児	100	13	98	6	105	△ 7	7
	５歳児	100	8	103	2	102	△ 6	△ 1
	合計	300	113	315	89	309	△ 7	11
第一幼稚園	満３歳児未満				2	2	2	2
	３歳児	70	53	53	26	46	△ 27	△ 7
	４歳児	105	12	58	4	61	△ 8	3
	５歳児	105	0	74	0	58	0	△ 16
	合計	280	65	185	32	167	△ 33	△ 18
第二幼稚園	３歳児	60	68	68	73	73	5	5
	４歳児	90	19	89	6	71	△ 13	△ 18
	５歳児	90	1	96	2	90	1	△ 6
	合計	240	88	253	81	234	△ 7	△ 19
総合計		1,460	811	1,848	725	1,802	△ 69	△ 29

②専任教職員数

所属	平成28年度			平成29年度			増減	備考
	教員数	職員数	合計	教員数	職員数	合計		
短期大学	49	31	80	47	29	76	△ 4	学生寮含む
専門学校	15	4	19	15	4	19	0	寮含む
香蘭幼稚園	14	1	15	14	1	15	0	園長除く
第一幼稚園	13	0	13	11	1	12	△ 1	園長除く
第二幼稚園	15	1	16	16	1	17	1	１名産休中
総合計	106	37	143	103	36	139	△ 4	

29年度 事業の概要

2-1

◆短期大学

	事業項目	事業の概要
①	LP学科とFA学科での四学期制導入	29年度生より4学期（クオーター）制の導入。30年度から1・2年生ともにクオーター制となる。期は4学期制であるが、科目の一部はセメスター制での開講がある。
②	履修登録及び出欠状況等のWeb化	4学期制に併せて教学システム等を順次Web化に変更中。現在は、閉域領域（学内のPC）からの成績等の入力であるが、今後、グローバルオープンにするか等の課題あり。
③	組織改善改革等の推進	H29年度私立大学等改革総合支援事業「（タイプ1）教育の質的転換」、「（タイプ5）プラットフォーム形成」、私立大学等経営強化集中支援事業（タイプA）の3事業で選定された。
④	海外研修の継続予定	FA総合学科（イタリア）＝12月に実施、保育・食物栄養学科（ハワイ）＝成立せず、LP総合学科（台湾）＝成立せず。
⑤	「短期大学コンソーシアム九州」共同事業の継続	学生アンケート、高校キャラバン等の実施、IRの構築等。補助金は28年度で終了したが一部事業は継続実施。
⑥	経営改善計画の継続と見直し	経営改善計画を見直し、中間結果による目標の再設定。8月の学園教職員研修会で例年通り実施し、意識を共有した。
⑦	8号館空調工事・7号館昇降機の入れ替え工事等	築年が30年以上経過し、修理不能。近年、頻繁に故障したため、予定通り改修した。その他、7・8号館屋上の防水工事、旧6号館跡地の駐車場整備を行った。
⑧	インターンシップの充実	受け入れ先の新規開拓、拡大と希望学生への周知徹底を行った。
⑨	留学生の積極的受け入れ	入学生減対策として日本語学校等を積極的に訪問すると同時に業者が主催する相談会への参加を増やした。結果、留学生入学者が4名（29年度）から7名（30年度）に増加。
⑩	教育改革実行計画の募集継続	学長裁量予算100万で教職員・学生からの計画に経費支出。H29年度は3件採択。
⑪	地域連携センターの活動推進	地域との連携及び貢献活動の組織的取組の推進。H29年度は「南区出前講座（大学版）」に21講座、「南区こども大学」に6講座を提供し実施。
⑫	専任・非常勤全科目の授業評価実施	28年度後期より実施、29年度から全科目で実施した。
⑬	授業評価・教職員評価顕彰制度の継続	学生の授業評価・教職員の評価等で教職員の顕彰を継続実施。
⑭	授業公開の継続	専任、非常勤教員の授業公開の義務付けを継続実施。

◆専門学校

	事業項目	事業の概要
①	サマーショー回顧展の開催	過去30回のサマーショーの回顧展を7月に学内で開催。
②	卒業記念展の開催	大丸の協賛により、エルガーラで2月に初開催。
③	高等学校家庭部会全国大会会場	全国大会の会場として8月に開催。
④	産学コンソーシアムへの参加	FA分野における中核的専門人材育成の戦略推進事業。東京・大阪の文化服装学院で開催され、6回参加。
⑤	技能オリンピックへの出場	ファッションテクニカル科が11月に出場（栃木）。全国3位に入賞。
⑥	イオンなど企業とのコラボ	各種産学共同企画参加。2月に香椎浜イオンにショップを出店した。
⑦	海外研修の実施	イタリアIED研修を12月に実施。
⑧	ファッションウィーク他各種ショー開催	3月のファッションウイーク、鴻臚館祭のショーに参加（作品発表）。
⑨	校舎老朽化等にに伴う改修工事	老朽化等により学生に不評であった本館トイレおよび内装の改修工事、東館エアコンの改修工事、オイルタンク撤去を行った。

29年度 事業の概要

◆香蘭幼稚園

事業項目		事業の概要
①	親子1歳児保育の実施	平成29年度から実施。
②	教職員研修旅行の実施	韓国釜山の幼稚園での研修を含めた旅行を実施。
③	保育料減免の継続	兄弟・双子入園児の保育料の減免を継続実施。
④	継続事業	二歳児保育、満三歳児保育、延長保育・未就園児教室の継続実施。

◆那珂川第一幼稚園

事業項目		事業の概要
①	こども園への準備で園舎改築	設備整備補助金を申請し、増築工事を実施。
②	こども園への移行説明会の開催	こども園移行に関しての決定事項報告のため、保護者等対象の説明会を必要に応じ実施。
③	満三才未満児保育の継続	H28年度後期より開始した満三歳未満保育を継続実施。
④	夏・冬・春休暇中の預り保育の実施	パート就業保護者などへの配慮のため、長期休暇中の預り保育を実施。

◆那珂川第二幼稚園

事業項目		事業の概要
①	園庭のフェンス腐食のための改修	老朽化(18年経過)で倒壊の危険があったため、改修工事を実施。
②	園内放送システムの改修	経年による器具不良多発、修理不能のため改修工事を実施。
③	未就園児教室の充実(回数増)	優先入園希望園児増加を目的に未就園児教室の回数を増やした。
④	預り保育の延長、早朝受入の継続	サービス向上のため、預り保育延長、早朝受入を継続実施。

◆法人本部

事業項目		事業の概要
①	第一幼稚園の認定こども園準備	30年4月移行開設
②	その他	小郡学校用地の売買契約成立。H30年8月に売却予定。

★香蘭女子短期大学

① 総合学科での4学期制の導入

ファッション総合学科とライフプランニング総合学科において、4学期（クオータ）制を1年次生から導入した。同一科目を週に2コマ開講し15回の授業を集中して7～8週で終了し、試験を実施後、次期に続く。29年度は1年次生のみ実施し、30年度からは1・2年生ともに4学期制となる。全ての科目が4学期制ではなく、一部の科目においてはセメスター（前・後期）制の開講となる。

② 履修登録及び出席状況のweb化

4学期制導入に併せ、教学システム等を順次web化へと進めていく。セキュリティの問題もあり、初年度は閉城領域システムとして、学内でのPCからのアクセスのみの入出力システムであるが、今後はセキュリティの問題をクリアーし、グローバルオープン（学外からのアクセス）化を検討中。
また、学内での無料WIFIを導入し、学生たちのアクセスが可能な接続ポイントを本館、食堂、図書館等に設置した。今後は学内どこからでもアクセスできるように増設予定である。

③ ファッション総合学科卒業制作展の実施

昨年度に引き続き、天神ソラリアプラザ1F「ゼファ」において、2月15日～18日の4日間、卒業制作展を開催した。「博多織」が始まって777年の年を記念として、博多織の素材を使った作品をメインに、展示とファッションショーを行った。特に最終日のファッションショーでは、煌びやかな衣装が多くの観客の関心を集めていた。

④ 組織改善改革等の推進による各種支援事業の採択

私立大学等改革総合支援事業「（タイプ1）教育の質的転換」・「私立大学等経営強化集中支援事業（タイプA）経営強化型」・「プラットフォーム形成（タイプ5）」の3つの事業に採択され、補助金が交付された。
特に、「プラットホーム形成」については、長崎国際大学を中心に長崎・佐賀の国公私立大学及び地域の経済団体21団体で構成された「九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム」に福岡から精華女子短期大学と香蘭女子短期大が参加し、県境を越えた産学官連携プロジェクトである。

⑤ 「短期大学コンソーシアム九州」の共同事業の継続

継続事業として、九州7短大で「IRネットワークシステムの構築」・「公開研究会」・「短期大学フェスの実施」・「在学生調査」・「高校訪問キャラバン隊」などを実施。この事業の補助金は終了したが、事業は継続中である。

⑥ 学園全教職員研修会の開催

例年のように，8月に学園教職員を対象に、学園の財務状況・資産状況・収支の状況・学生教職員数等について資料を基に説明を行い改善計画の見直しを行った。

⑦ 授業評価の完全実施

29年度より、専任教員及び非常勤教員のすべての担当科目の全コマにおいて、学生によるペーパーによる授業評価を実施。昨年度までは、教員任意で希望科目で行っていたが、すべて義務として実施した。WEBでの評価も検討したが、回答率がよくないことが予想されたため、業者委託のペーパーでの実施とした。

⑧ 各種改修工事の実施

1) 7号館・8号館屋上防水工事　2) 8号館空調機器の全館入替工事　3) 8号館ボイラー撤去工事
4) 6号館跡地駐車場整備工事　5) 7号館エレベーター式取替改修工事　6) 学内無線LAN設置工事

★香蘭ファッションデザイン専門学校

① サマーショー回顧展の開催

過去30回の長きに亘り開催してきた「サマーショー」が29年度を最後に終了した。これまでに発表した作品をダイジェストしたものや、新たな作品も含め7月に学内で開催し、多くの関係者、卒業生、高校生が参加し盛況のうちに終了した。今後は、2月に開催する卒業記念展をメインに2月にエルガーラで開催する。

② 卒業記念展の開催

7月に開催していたサマーショーを、「卒業記念展」としてエルガーラで2月に開催した。
7月のサマーショーの時期は、2年生が就職活動時期と重なりショーの作品制作と就職試験と負担が大きく、どちらも集中できない状況であった。そこで2年生が学業の集大成として、卒業作品展で制作披露できる場を設け、高校生にもアピールできる場とした。29年度は、博多大丸の協賛を得てショーと作品展示を行い、さらにはアーケード内のイベントスペースにおいてミニショーを同時開催した。一般の観覧者も作品に見入っていた。

③ 企業とのコラボレーションイベント等の企画

ⅰ) 店舗ディスプレイ企画（トリアスプロパティマネジメントオフィス・フォーサイト㈱）
・企業のコンセプトとシーズン提案に沿ったウィンドウディスプレイを行いプロ目線のVMDの技術を学ぶ。また、クリスマス用販売促進ディスプレイを提案、設営を行い、効果的な販売促進を学ぶ。

ⅱ) ワークショップたちばな
・障がい者の方々をモデルとしたファッションショー開催。「しあわせのかたちプロジェクト」としてコラボレーション作品が着心地の良いワンピース作品として商品化。

ⅲ) 坂田織物
・福岡の伝統織物「久留米絣」の生地を織元より提供を受け、伝統の中に若い感性と新たな視点を取り入れた作品を制作し、感性溢れる世界に挑戦。

ⅳ) ㈱ ハード
・アパレルメーカー「㈱ハード」の協力を得て、天然素材・エコ素材で環境に配慮した作品を制作し商品化。

ⅴ) ㈱ サヌイ織物
・2018年に777周年を迎える「博多織」を使って、伝統の技をモードに魅せる作品を制作。

ⅵ) コラボショップ企画（FUKAYA・エスグループ・ビーザワン）
・教科書どおりではないショッププランニングの発表会を、現場レベルの知識を持つ企業の方を招いて開催。店舗の企画から運営までを実際の商業施設で実践。

ⅶ) デザイン企画（カリブ㈱・ワーゲン㈱・サンエース㈱）
・企業デザイナーとしての経験とスキルを身に着ける実践的職業教育に取り組み、実際にデザイン提案を行い、素材・デザイン・用途・価格等企業が求めるデザインとは何かを学ぶ。

大型商業施設「トリアス」にて販売促進クリスマスウインドウディスプレイ

中央区大名での実際店舗での企画運営　オリジナルティの強い店舗企画

④ 施設老朽化にともなう各種改修工事

1）本館トイレ改修工事
　築30年が経過し、配管詰まり、漏水等痛みも激しく学生から不評であったため、「パウダールーム」としてしゃれたトイレに改修した。

2）本館空調設備の改修取替工事
　暖房が重油を使用したボイラーであり、点火不良と環境に適さない状況であるため、本館すべての冷暖房を個別電気エアコンに取り換えた。

3）東館空調設備の入替工事
　既存の冷暖房設備が古く、故障が頻繁に起こるため、すべて入替工事を行った。

4）本館内装工事
　トイレ改修工事と併せ、本館全階の内装を回収した。

5）オイルタンクの撤去工事
　重油ボイラーの撤去に伴い地下重油タンクを掘り起こし撤去した。

★附属幼稚園

（那珂川第一幼稚園）

① 幼保連携型認定こども園への移行

平成30年4月の幼保連携型認定こども園への移行を目指して、那珂川町および福岡県子育て支援課と連携して種々準備を進めた。施設については、0歳・1歳・2歳の受け入れのための乳幼児保育室と給食提供のための調理室等を配し、さらには危機管理上の防災設備の充実を図った。
教職員についても、8月より順次、正職、嘱託、パートの採用を行い開園までには定員に対する教職員の配置が完了した。募集状況についても定員を確保することが出来、那珂川町の待機児童の解消のための一助となった。

② 認定こども園施設への施設増築工事

0歳児乳児室

調理室

運動場から見た外観

2歳児室トイレ

1歳児乳幼児室

新職員室

平成29年度
地域貢献活動状況

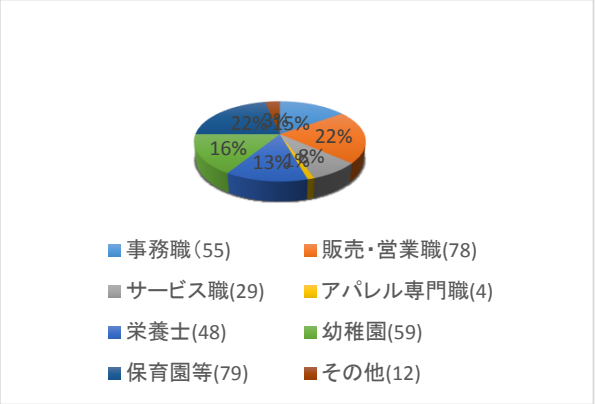
地域 公開講座	6月14日～ 7月19日～	被服講座「麻のチュニック」（全5回）	非常勤	島津順子	社会人
	9月13日～	手芸講座「和布を使った四季のタペストリー」（全3回）	非常勤	手嶋敦子	社会人
	11月15日～	被服講座「一重のカーディガンジャケット」（全5回）	非常勤	島津順子	社会人
	11月26日	博多人形（干支）絵付け体験講座	非常勤	小副川	社会人
	2月11日	沖縄講座「粋がって男踊り」	LP	西表 宏	社会人
高大連携 公開講座	8月7日	ブラウス仕立てのサマージャケット	FA	斎藤朋子	高等学校家庭科教諭
	8月7日	高校家庭科授業のための調理学実験	食栄	竹本尚未	高等学校家庭科教諭
出前講座 地域貢献	6月1日	テーブルモビールをつくろう	LP	河野 洋子	西花畑公民館
	6月23日	認知症予防の食事―脳も体もいつまでも若々しく！―	食栄	陶山 敦子	多賀2丁目ふれあいサロン
	7月19日	認知症予防の食事―脳も体もいつまでも若々しく！―	食栄	陶山 敦子	野多目校区 シニアクラブ親和会
	7月20日	からだとこころをほぐすストレッチ運動	保育	中村 洋子	多賀2丁目ふれあいサロン
	8月28日	からだとこころをほぐすストレッチ運動	保育	中村 洋子	大池校区健康推進部
	8月29日	フランス料理の基本を知ろう	食栄	眞木 孝	ふくろう会
	9月13日	本場インド料理　えびカレーに挑戦！	食栄	眞木 孝	長住団地自治会
	9月20日	子育ておしゃべり懇談会	保育	寺井 知香	臼佐公民館 乳幼児ふれあい学級
	9月21日	日本の恋愛観　～古代の恋愛・魂乞いと月～	LP	西表 宏	和田1丁目 男女共同参画部
	11月13日	子育ておしゃべり懇談会	保育	寺井 知香	柏原幼稚園 母親学級
	11月23日	からだとこころをほぐすストレッチ運動	保育	中村 洋子	臼佐こども会
	12月11日	北欧のインテリアに学ぶ～トランスパレントを楽しもう～	LP	河野 洋子	玉川校区健康推進連合会
	12月13日	からだとこころをほぐすストレッチ運動	保育	中村 洋子	ふれあいサロン 「たんぽぽ」
		北欧のインテリアに学ぶ～トランスパレントを楽しもう～	LP	河野 洋子	弥永西校区 ふれあいサロン
	12月16日	北欧のインテリアに学ぶ～トランスパレントを楽しもう～	LP	河野 洋子	三宅公民館 「まちなかカレッジ」
	1月20日	北欧のインテリアに学ぶ～トランスパレントを楽しもう～	LP	河野 洋子	公民館サークル 「男の居場所」
	1月25日	テーブルモビールをつくろう	LP	河野 洋子	和田1丁目 男女共同参画部
	1月28日	からだとこころをほぐすストレッチ運動	保育	中村 洋子	子育てサロン「ドミノ」
講演会等	7月5日	講和	保育	飯田良子	麓刑務所
	8月25日	講和	保育	飯田良子	麓刑務所
	2月2日	講和	保育	飯田良子	麓刑務所
その他	7月14日	横手小学校6年生とファッション総合学科とのジョイント授業	ファッション総合学科		横手小学校6年生
	11月11～ 12日	博多織求評会での作品展示	テクニカル専攻科		
	3月17～ 22日	ファッション総合学科作品展	ファッションウィーク福岡2018運営事務局 ㈱博多ステーションビル×香蘭女子短期大学		
ボランティア		ラブアースクリーンアップ福岡2017	LP	1年生	横手公民館
	6月24日	高齢者施設でのお楽しみ会開催	キッズフロンティア		ひいの丘

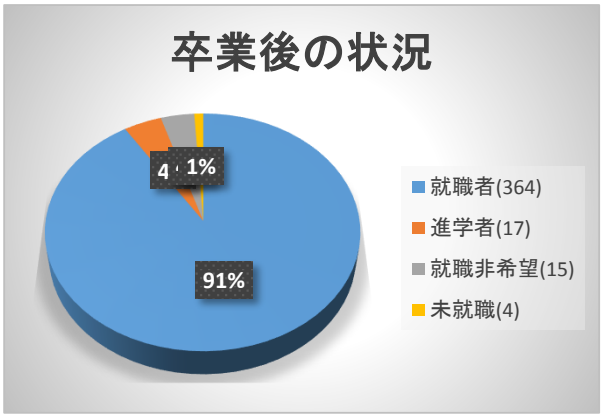
進路状況

短期大学

29年度卒業生　　30年年5月1日現在

学科	FA総合	食物栄養	保育	LP総合	総計	テクニカル専攻科
卒業生数（留学生を除く）	61	68	155	118	402	8
就職希望者数	49	62	150	107	368	8
希望率%	80.3%	91.2%	96.8%	90.7%	91.5%	100.0%
就職決定者数	49	62	149	104	364	8
就職決定率%	100.0%	100.0%	99.3%	97.2%	98.9%	100.0%
進学者数	8	4	1	4	17	0
就職非希望者	4	2	4	5	15	0

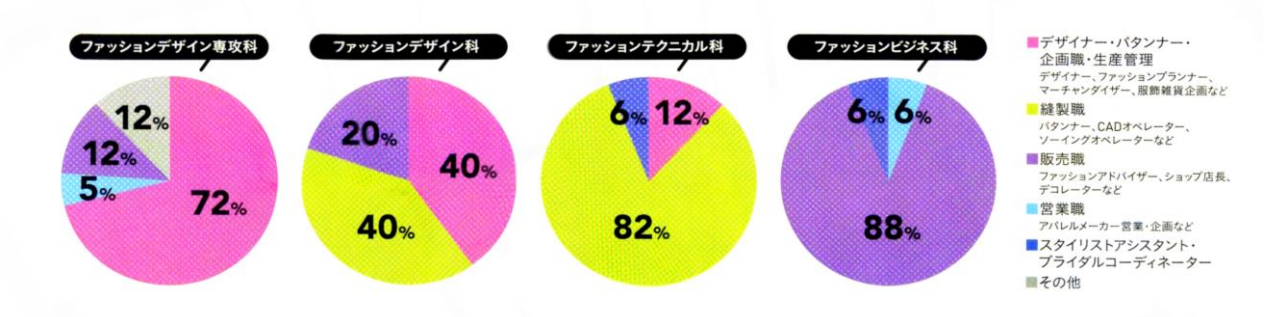




専門学校

27年度卒業生　　28年3月現在

学科	専攻科	デザイン	テクニカル	ビジネス	総計
卒業生数（留学生を除く）	21	12	22	38	93
就職希望者数	18	5	18	35	76
希望率%	85.7%	41.7%	81.8%	92.1%	81.7%
就職決定者数	18	5	18	35	76
就職決定率%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
進学者数	1	7	3	0	11
就職非希望者	2	0	1	3	6



決算の概要

１．資金収支計算書について

「資金収支計算書」は、当該年度の教育研究等の諸活動に対するすべての収入と支出の内容及び支払資金（現預金）のてん末を明らかにしたものです。お金の流れをすべて表した計算書となっていますので、授業料等の前受金収入、その他の収入などが含まれ、支出では、資産運用支出、その他の支出などが含まれます。

資金収支の合計額は 51 億 9,810 万円で、前年度決算額と比較して 4 億 8,160 万円の減となりました。減少した主な要因は、那珂川第一幼稚園の認定こども園移行に伴う施設整備補助金 9,560 万円の未収入金があったことと、前年度は第 2 号基本金引当特定資産取崩収入が 2 億 2,700 万円多かったことによります。

施設関係の支出では、那珂川第一幼稚園の認定こども園移行に伴う園舎増築工事等により、3 億 1,390 万円となりました。

資金収支のてん末としての翌年度繰越支払資金は 23 億 8,330 万円で、前年度決算額と比較して 1 億 8,950 万円減少しました。

２．活動区分資金収支計算書について

資金収支計算書を補うものとして、「教育活動による資金収支」、「施設整備等活動による資金収支」、「その他の活動による資金収支」の 3 つに区分して計算したものが「活動区分資金収支計算書」となります。これにより活動区分ごとの資金の流れが明らかになり、支払資金の収支差額が把握しやすくなっています。

「教育活動による資金収支」では、本業である教育活動の収支状況を把握することができ、620 万円の収入超過となっています。次に「施設整備等活動による資金収支」では、施設・設備関係の収支を把握することができ、2 億 8,120 万円の支出超過となっています。最後に、「その他の活動による資金収支」では、有価証券売却収入や購入支出、特定資産からの取崩収入や繰入支出、税金等預り金などの収入や支出を把握することができます。その他の活動資金収支差額は、8,540 万円の収入超過となっており、支払資金の増減額は、1 億 8,950 万円の減少となりました。

３．事業活動収支計算書について

「事業活動収支計算書」では、当該年度の事業活動を表すもので、収支を経常的なものと臨時的なものに分け、さらに経常的な収支を教育活動と教育外活動に、臨時的な収支は特別収支として区分し、それぞれの区分ごとに事業活動収入及び支出の状況を把握できるようにしています。これによって学校法人の経営状態が健全であるかどうかを判断することができます。

平成 28 年度事業活動収支における事業活動収入計は 18 億 6,790 万円となりました。また、事業活動収入計と事業活動支出計の差額は 9,630 万円の支出超過となり、基本金組入額は 2 億 6,920 万円を計上しました。

教育活動収支では、経常的な収支のうち、本業である教育活動の収支を見ることができ、収支差額は 2 億 3,130 万円の支出超過となりました。この主な要因は、短期大学と専門学校で行った大規模な改修工事によるものです。

次に教育活動外収支では、経常的な収支のうち、財務活動の収支を見ることができ、その収支差額は

3,910 万円の収入超過となりました。この主な要因は、受取利息・配当金が増加したためです。

経常収支差額では、経常的な収支バランスを見ることができますが、1 億 9,220 万円の支出超過となりました。

特別収支差額では、資産売却や施設・設備関係の補助金等の臨時的な収支を見ることができ、9,590 万円の収入超過となりました。この主な要因は、那珂川第一幼稚園の認定こども園移行に伴う園舎増築工事の施設設備補助金 9,560 万円によるものです。

基本金組入前当年度収支差額では、当該年度の収支バランスを見ることができますが、結果として 9,630 万円の支出超過となりました。

基本金組入額合計は、学校法人を維持するために必要な資産を継続的に保持するための組入額で、2 億 6,920 万円の計上となりました。この主な要因は、将来に備えた改修工事等に係る第 2 号基本金への組入れを 1 億 3,500 万円行ったことによります。

当年度収支差額は、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を控除したもので、3 億 6,550 万円の支出超過となりました。

４．貸借対照表について

「貸借対照表」は、学校法人としての財政状態を明らかにするもので、平成 30 年 3 月 31 日時点における資産、負債、純資産の内容および残高を表しています。

「有形固定資産」の増加の主な要因となったのは、那珂川第一幼稚園のこども園移行に伴う園舎増築工事によります。「特定資産」の減少については、第 2 号基本金引当金の取崩しが組入れより多かったためです。「その他の固定資産」については、有価証券を売却したことによる減少となりました。

「資産の部」合計は本年 184 億 3,480 万円となり、前年度と比較して 8,570 万円減少しています。また、「負債の部」合計は 10 億 1,440 万円となり、前年度と比較して 1,060 万円増加しています。その結果、基本金と繰越収支差額を合算した「純資産の部」合計は、174 億 2,040 万円となり、前年度と比較して 9,630 万円減少しました。資産総額に含める純資産の割合は、94.5%となり、前年度の 94.6%から 0.1 ポイント低くなりました。

資金収支計算書

平成29年 4月 1日　から
平成30年 3月31日　まで

（単位　円）

収入の部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
学生生徒等納付金収入	1,240,005,000	1,288,992,910	△ 48,987,910
手数料収入	15,137,000	16,746,300	△ 1,609,300
寄付金収入	8,046,000	8,439,269	△ 393,269
補助金収入	327,286,000	341,226,836	△ 13,940,836
国庫補助金収入	110,000,000	179,221,000	△ 69,221,000
地方公共団体補助金収入	217,286,000	162,005,836	55,280,164
資産売却収入	50,000,000	85,286,383	△ 35,286,383
付随事業・収益事業収入	52,500,000	62,681,078	△ 10,181,078
受取利息・配当金収入	38,056,000	39,130,655	△ 1,074,655
雑収入	104,544,000	109,629,820	△ 5,085,820
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	420,000,000	445,601,750	△ 25,601,750
その他の収入	789,331,000	863,793,750	△ 74,462,750
資金収入調整勘定	△ 505,959,000	△ 636,296,660	130,337,660
前年度繰越支払資金	2,079,411,000	2,572,867,797	
収入の部合計	4,618,357,000	5,198,099,888	△ 579,742,888

（単位　円）

支出の部			
科　　目	予　　算	決　　算	差　　異
人件費支出	1,082,654,000	1,114,233,590	△ 31,579,590
教育研究経費支出	364,652,000	402,661,730	△ 38,009,730
管理経費支出	206,224,000	156,846,080	49,377,920
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	370,840,000	313,927,189	56,912,811
設備関係支出	47,725,000	57,813,586	△ 10,088,586
資産運用支出	185,000,000	186,026,437	△ 1,026,437
その他の支出	547,605,000	616,549,987	△ 68,944,987
	0		
〔予備費〕	11,950,000		11,950,000
資金支出調整勘定	△ 26,900,000	△ 33,306,358	6,406,358
翌年度繰越支払資金	1,828,607,000	2,383,347,647	△ 554,740,647
支出の部合計	4,618,357,000	5,198,099,888	△ 579,742,888

活 動 区 分
資金収支計算書

平成29年 4月 1日　から
平成30年 3月31日　まで

（単位　円）

		科　　目	金額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	1,288,992,910
		手数料収入	16,746,300
		一般寄付金収入	8,439,269
		経常費等補助金収入	244,353,836
		付随事業収入	62,681,078
		雑収入	109,503,263
		教育活動資金収入計	1,730,716,656
	支出	人件費支出	1,114,233,590
		教育研究経費支出	402,661,730
		管理経費支出	156,713,200
		教育活動資金支出計	1,673,608,520
		差引	57,108,136
		調整勘定等	△ 50,884,194
	教育活動資金収支差額		6,223,942
施設整備等活動による資金収支		科　　目	金額
	収入	施設設備補助金収入	96,873,000
		第２号基本金引当特定資産取崩収入	223,000,000
		施設整備等活動資金収入計	319,873,000
	支出	施設関係支出	313,927,189
		設備関係支出	57,813,586
		第２号基本金引当特定資産繰入支出	135,000,000
		施設整備等活動資金支出計	506,740,775
		差引	△ 186,867,775
		調整勘定等	△ 94,305,312
	施設整備等活動資金収支差額		△ 281,173,087
	小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）		△ 274,949,145
その他の活動による資金収支		科　　目	金額
	収入	有価証券売却収入	83,880,493
		預り金受入収入	497,403,825
		その他の収入	96,541,656
		小計	677,825,974
		受取利息・配当金収入	39,130,655
		過年度修正収入	126,557
		その他の活動資金収入計	717,083,186
	支出	有価証券購入支出	50,263,490
		退職給与引当特定資産繰入支出	752,903
		預り金支払支出	492,932,909
		その他の支出	87,572,009
		小計	631,521,311
		過年度修正支出	132,880
		その他の活動資金支出計	631,654,191
		差引	85,428,995
		調整勘定等	0
	その他の活動資金収支差額		85,428,995
	支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）		△ 189,520,150
	前　年　度　繰　越　支　払　資　金		2,572,867,797
	翌年度繰越支払資金		2,383,347,647

事業活動収支計算書

平成29年 4月 1日　から
平成30年 3月31日　まで

（単位　円）

		科目	予算	決算	差異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,240,005,000	1,288,992,910	△ 48,987,910
		手数料	15,137,000	16,746,300	△ 1,609,300
		寄付金	8,046,000	8,439,269	△ 393,269
		経常費等補助金	228,948,000	244,353,836	△ 15,405,836
		国庫補助金	110,000,000	106,137,000	3,863,000
		地方公共団体補助金	118,948,000	138,216,836	△ 19,268,836
		付随事業収入	52,500,000	62,681,078	△ 10,181,078
		雑収入	104,544,000	109,508,263	△ 4,964,263
		教育活動収入計	1,649,180,000	1,730,721,656	△ 81,541,656
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		人件費	1,154,479,000	1,114,986,493	39,492,507
		教育研究経費	603,352,000	634,570,404	△ 31,218,404
		管理経費	274,924,000	212,497,785	62,426,215
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	2,032,755,000	1,962,054,682	70,700,318
	教育活動収支差額		△ 383,575,000	△ 231,333,026	△ 152,241,974
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	38,056,000	39,130,655	△ 1,074,655
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	38,056,000	39,130,655	△ 1,074,655
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額		38,056,000	39,130,655	△ 1,074,655
	経常収支差額		△ 345,519,000	△ 192,202,371	△ 153,316,629
特別収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	98,338,000	98,110,496	227,504
		特別収入計	98,338,000	98,110,496	227,504
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	2,086,691	△ 2,086,691
		その他の特別支出	0	132,880	△ 132,880
		特別支出計	0	2,219,571	△ 2,219,571
	特別収支差額		98,338,000	95,890,925	2,447,075
			0		
	〔予備費〕		11,950,000		11,950,000
基本金組入前当年度収支差額			△ 259,131,000	△ 96,311,446	△ 162,819,554
基本金組入額合計			△ 247,000,000	△ 269,193,679	22,193,679
当年度収支差額			△ 506,131,000	△ 365,505,125	△ 140,625,875
前年度繰越収支差額			4,612,284,819	4,612,284,819	0
基本金取崩額			0	0	0
翌年度繰越収支差額			4,106,153,819	4,246,779,694	△ 140,625,875

（参考）

事業活動収入計	1,785,574,000	1,867,962,807	△ 82,388,807
事業活動支出計	2,044,705,000	1,964,274,253	80,430,747

貸借対照表

平成30年 3月31日

（単位　円）

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増　減
固定資産	(15,747,424,212)	(15,786,763,035)	(△ 39,338,823)
有形固定資産	< 10,180,619,513 >	< 10,100,953,051 >	< 79,666,462 >
土地	4,099,148,979	4,099,148,979	0
建物	5,318,724,457	5,244,834,457	73,890,000
その他の有形固定資産	762,746,077	756,969,615	5,776,462
特定資産	< 5,382,901,203 >	< 5,470,148,300 >	< △ 87,247,097 >
その他の固定資産	< 183,903,496 >	< 215,661,684 >	< △ 31,758,188 >
流動資産	(2,687,332,102)	(2,733,660,492)	(△ 46,328,390)
現金預金	2,383,347,647	2,572,867,797	△ 189,520,150
その他の流動資産	303,984,455	160,792,695	143,191,760
資産の部合計	18,434,756,314	18,520,423,527	△ 85,667,213

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増　減
固定負債	(445,954,561)	(447,535,649)	(△ 1,581,088)
長期未払金	3,053,358	5,387,349	△ 2,333,991
退職給与引当金	442,901,203	442,148,300	752,903
流動負債	(568,449,345)	(556,224,024)	(12,225,321)
短期借入金	0	0	0
その他の流動負債	568,449,345	556,224,024	12,225,321
負債の部合計	1,014,403,906	1,003,759,673	10,644,233

純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増　減
基本金	(13,173,572,714)	(12,904,379,035)	(269,193,679)
第１号基本金	12,683,572,714	12,326,379,035	357,193,679
第２号基本金	165,000,000	253,000,000	△ 88,000,000
第３号基本金	200,000,000	200,000,000	0
第４号基本金	125,000,000	125,000,000	0
繰越収支差額	(4,246,779,694)	(4,612,284,819)	(△ 365,505,125)
翌年度繰越収支差額	4,246,779,694	4,612,284,819	△ 365,505,125
純資産の部合計	17,420,352,408	17,516,663,854	△ 96,311,446
負債及び純資産の部合計	18,434,756,314	18,520,423,527	△ 85,667,213

財産目録

平成30年 3月31日

（単位 円）

科　　目	摘　　要	金　　額
一　資産額		
（一）基本財産		8,683,208,860
1　土地	福岡市南区横手1-59他	2,574,057,878
2　建物	短期大学本館他	5,318,724,457
3　構築物	短期大学外構他	222,023,510
4　その他の有形固定資産	短期大学教研用機器備品他	540,722,567
5　その他の固定資産	教務システム他	27,680,448
（二）運用財産		9,751,547,454
1　土地	福岡市南区塩原3-379他	1,525,091,101
2　学園拡充引当特定資産	学園拡充用資産	3,125,000,000
3　施設更新引当特定資産	既存施設建替資金	1,450,000,000
4　退職給与引当特定資産	退職金引当資金	442,901,203
5　第２号基本金引当特定資産	第一幼稚園園舎改築資金　他	165,000,000
6　第３号基本金引当特定資産	学園奨学金基金	200,000,000
7　長期有価証券	長期投資用債券	155,247,394
8　現金預金	当座支払資金	2,383,347,647
9　短期有価証券	中期国債ﾌｧﾝﾄﾞ等投資信託等	107,971,871
10　その他の資産	退職金財団交付金未収入金　他	196,988,238
資　産　合　計		18,434,756,314
二　負債額		
1　固定負債		445,954,561
（1）長期未払金	教務システムリース代　他	3,053,358
（2）退職給与引当金	期末要支給額	442,901,203
2　流動負債		568,449,345
（1）未払金	共済掛金他	35,496,184
（2）前受金	入学金、入園料他	445,601,750
（3）その他の流動負債	卒業積立金等預り金他	87,351,411
負　債　合　計		1,014,403,906
正味資産総額（資産合計－負債合計）		17,420,352,408

監査報告書

監 査 報 告 書

平成 30年 5月26日

学校法人 山内学園

理 事 長　坂　根　康　秀　殿

学校法人 山内学園

監事　山内 隆

監事　武部 道孝

私たち監事は、私立学校法及び学校法人山内学園寄附行為第 14 条の定めに基づき、平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで）の本学園の財産の状況及び理事の職務の執行状況を監査いたしました。その結果を次のとおり報告致します。

1. 監査内容

監事は、理事会その他重要な会議に出席し、理事から業務の執行状況を聴取し、重要書類等を閲覧し、関係部所において業務及び財産の状況を調査する等の方法で監査し、また、公認会計士（監査法人 北三会計社）と連携し、計算書類について協議しました。

2. 監査結果

（1）学校法人の業務は、事業計画及び予算に沿い適切に遂行されており、不正の行為或いは法令及び寄附行為に違反する事実は認められません。

（2）資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、及び貸借対照表（付属内訳表を含む）並びに財産目録は、法令及び寄附行為に従い、本学園の財産及び経営の状況を正しく示しているものと認めます。

以　上

財務比率表（5ヵ年）

【事業活動収支計算書関係比率】

比　　率	算式（×100）	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
人件費比率	人件費 / 経常収入	66.42	65.28	66.47	63.04	63.00
人件費依存率	人件費 / 学生生徒等納付金	88.30	84.66	90.69	85.34	86.50
教育研究経費比率	教育研究経費 / 経常収入	28.52	33.57	28.19	27.56	35.85
管理経費比率	管理経費 / 経常収入	14.80	14.95	13.81	13.04	12.01
借入金等利息比率	借入金等利息 / 経常収入	0.04	0.02	0.00	0.00	0.00
経常収支差額比率	経常収支差額 / 経常収入	-9.77	-13.81	-8.48	-3.64	-10.86
教育活動収支差額比率	教育活動収支差額 / 教育活動収入計	-11.82	-16.06	-10.09	-5.05	-13.37
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 / 事業活動収入	21.17	-22.77	-1.14	-3.40	-5.16
学生納付金比率	学生納付金 / 経常収入	75.22	77.11	73.30	73.87	72.83
寄付金比率	寄付金 / 事業活動収入	0.33	0.50	0.44	0.44	0.45
補助金比率	補助金 / 事業活動収入	10.16	12.22	13.45	14.50	18.27
基本金組入率	基本金組入額 / 事業活動収入	5.54	14.13	12.38	0.39	14.41
減価償却額比率	減価償却額 / 経常支出	14.95	13.70	14.04	15.42	14.68

【貸借対照表関係比率】

流動比率	流動資産 / 流動負債	316.56	373.50	373.35	491.47	472.75
総負債比率	総負債 / 総資産	5.63	5.22	5.29	5.42	5.50
前受金保有率	現金預金 / 前受金	380.17	392.90	431.45	572.18	534.86
退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産 / 退職給与引当金	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
固定資産構成比率	固定資産 / 総資産	89.01	88.80	88.74	85.24	85.42
負債比率	総負債 / 純資産	5.97	5.51	5.59	5.73	5.82
基本金比率	基本金 / 基本金要組入額	99.88	99.99	99.94	99.95	99.94
減価償却比率	減価償却累計額 / 減価償却資産取得価額	36.10	38.34	38.65	40.28	41.61

※平成26年度以前の決算については、平成27年度から適用された改正後の会計基準に基づき、組み替えて表示している。